

No.	重点方針	意見内容	意見内容の反映
1-1	恵まれた自然環境の中での切れ目のない子育て支援	(文中)「～福祉や医療が保育や学校などと連携し、障害のある子どもに対する支援を継続的に行うとともに～」の保育の意味は何か。保護者(又は家庭)ではないのか。 「恵まれた自然環境」とは、「健康的な人間らしい暮らしが出来る」の意味なので、そのニュアンスを入れたい。	○ 「保育」は、分野の一つとして表しています。その点を踏まえ、下記のとおり修正しました。 ⇒ 修正案 「～福祉や医療の分野が保育や教育などの様々な分野と連携して～」 ○ 修正しました。 ⇒ 修正案 「子どもたちが自然の中で健やかにのびのびと育つ環境づくりを推進します。」
1-2	特色ある学校教育の充実	(文中)「～通学区域の変更や学校の統廃合などについても計画を推進します。」は、「計画」を削除した方が文章が強く感じられる。原文のままだとまわりくどくなり、取り組みの意思が感じられない。 「特色ある学校教育」の内容をできるだけ具体的にすること。具体的にさいしては、「コミュニケーション能力」のような、定義の難しい用語を出来るだけ使用しないこと。学力でテストの成績向上や進学実績など、客観的に確認可能な指標に言及できれば望ましい。 小中一貫校教育のメリットがどのような点にあるのか明確にすること。 町として、教育には積極的に資金を投じるというメッセージを明確にすること。 「英語教育」は、他自治体と比べ、特色があるのか確認したい。 「特色ある」という表現を「魅力ある」「魅力的な」にしたい。 「コミュニティスクール導入による、学校・保護者・地域のみんなで子育てする」というニュアンスを入れたい。 (文中)「～地域ぐるみで地域に愛着を持った子どもたちの育成を目指します。」を「～と共に将来、二宮町を担える子どもたちを育てる」ではどうか。	○ 削除します。 ○ 内容は、他の修正を踏まえ修正しました。(ただし、具体的な指標については、「実施計画(毎年度更新)」に設定することで、取り組みの成果を毎年度評価・検証し、結果を施策・事業の改善や予算編成等に反映し、より一層の推進を図ることができるため、実施計画の中で検討をしていきます。) ○ 修正しました。 ⇒ 修正案 「～長期的な視点のきめ細やかで柔軟な学習指導による小中一貫校教育」 ○ 重点的方針では、特に推進すべき事項について示しているため、具体的な予算等についての明記はしません。 ○ 他の自治体との教育内容の明確な違いを示すことは難しいと考えます。ここでの「英語教育」とは、教育内容について、他の自治体との差別化を表現しているものではなく、二宮町の魅力ある環境の中で教育をするという意味です。 ○ 他の修正も踏まえ、一部修正をしました。 ⇒ 修正案 「～二宮町らしい魅力ある教育環境づくりを進めます。」 ○ 修正しました。 ⇒ 修正案 「～コミュニティスクールの取り組みについては、学校や保護者、地域との連携・協力を深め、地域ぐるみで地域に愛着を持った子どもたちを育成すると共に～」 ○ 修正しました。 ⇒ 修正案 「～地域ぐるみで地域に愛着を持った子どもたちを育成すると共に、将来二宮町を担う子どもたちの豊かな成長を支援します。」
4-1	効率的な行財政運営の推進	「広域行政の推進」は、具体的なものがあげられると良い。	○ 現在連携しているものは、「施設利用の相互利用」「消防」「環境衛生」「県や他市町村との職員交流による人材育成」であり、今後取り組める内容は未定なため、現在の取り組みのみ表記しています。
全体		以下のニュアンスを盛り込みたい ・首都圏に近く通勤・通学に便利 ・海と山があり、気候が良く健康的に生きられる ・子育て世代のシニア世代が暮らしやすい SDGs、ともに生きる社会かながわ憲章に沿った地域社会の実現、未病対など、神奈川県が市町村の取り組みを呼びかけている施策についても、何らかの形で盛り込んでいただきたい。 これからの社会変化のリスク的要素もしっかりと認識した上での方針になっていた方が良いと思う。(文中)「環境を活かした「生活の質」の向上と「定住人口」の確保～」を「環境を活かした「生活の質」の向上、多様性の尊重、そして「定住人口」の確保～」にした方が良いかと思う。	○ 可能な範囲で追加しました。 ○ 可能な範囲で追加しました。 1-3 (文中)「～ともに生きる社会の中で多様性を尊重しながら～」 (文中)「～町民による健康づくりや未病に対する取り組みが活発化するよう支援していくとともに～」 ○ ご指摘いただいた点は基本構想の部分であるため、下記の重点方針に表現を追加しました。 1-3 (文中)「～ともに生きる社会の中で多様性を尊重しながら～」

その他	分野別「障がい者(児)福祉」については、インクルーシブ教育に基づいた教育の充実という内容をいれたい。	○ 分野別方針の中で検討します。
	分野別「障がい者(児)福祉」の中に、「地域支援センターそしん」との連携について触れてほしい。(前期計画では、かな作業所の写真が入っていたため)	○ かな作業所は、以前町が主体となって委託をしていたという経緯により、写真を掲載をしていましたが、「地域支援センターそしん」は民間事業所の一つであるため、特定の表記をすることが難しいと考えています。
	基礎調査に、町の税収(町民税・法人税・固定資産税)の現状と近い将来の状況を入れた方がいい。	○ 今回の基礎調査には入れられなかったため、今後策定する際に検討します。
	基礎調査の専門用語の「将来負担比率」の意味が分からない。	○ 地方公共団体の借入金(地方債)など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。
	総合計画の前期・中期の実績と課題、他の計画類との関係性を整理し、委員が共有すべき。	○ 総合計画の前期・中期の実績及び課題については、現在評価をとりまとめているため、取りまとめ次第お示しします。
	平成28年度の行政評価実績を明示してほしい。また、平成29年度の実績についても、明示してほしい。	○ 平成28年度については、別紙「平成28年度 行政評価一覧」でお示ししたとおりです。平成29年度については、現在評価をしているため、評価が確定後お示しします。
	後期基本計画の重点的方針の検討資料の「定住対策については、昨年度は転入が転出を上回る社会増となるなど、取組が成果となって現れつつある」の取り組みは何を示しているのか。	○ 「にのみやLife」シティプロモーション戦略に基づいて実施している、移住セミナーやツアー、町民と連携による情報発信などが取り組みの一例です。